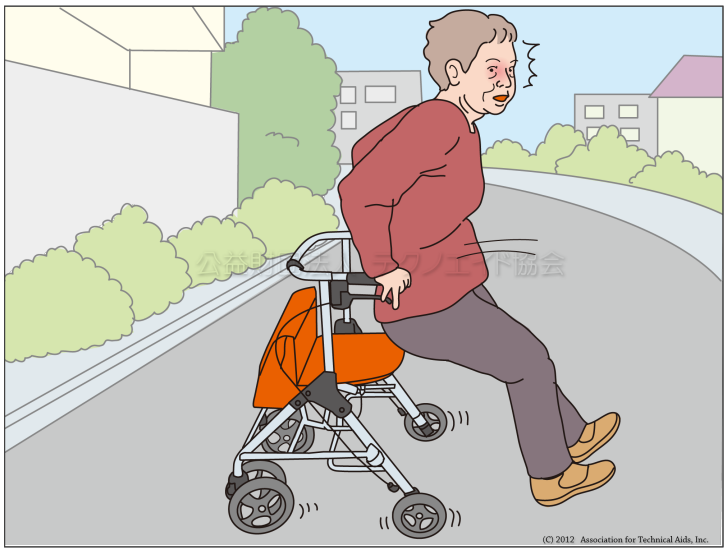
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：241

ブレーキを解除してから立ち上がろうとしたため、車体が動き後方に転倒しそうになる

場面の説明

操作を間違えて、立ち上がる前にブレーキを解除していたため車体が後方に動き、転倒しそうになった



利用シーン	立ち座り 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行車からの立ち上がりでは、多くの場合ハンドルの部分を手すり代わりに使ってしまいます。その手すりが不意に動いてしまうと転倒し大きなケガにつながりかねません。歩行車からの立ち座りは必ずブレーキをしっかりとかけた状態で行うよう習慣化させることが大切で、周囲の家族などが日ごろから声をかけ注意を促すことも役に立ちます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：手順を間違えて覚えていた
モノ：意図せずブレーキが解除されていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.